

# エコアクション 21 環境活動レポート

2010 年度 ( 期間 2010/4 ~ 2011/3 )



## ケミコン精機株式会社

〒198-0042 東京都青梅市東青梅 1-7-6

Tel : 0428-24-3830( 代表 )

Fax : 0428-24-8599

E-mail : [csk-info@nippon.chemi-con.co.jp](mailto:csk-info@nippon.chemi-con.co.jp)



## 1. 組織の概要

---

(1) 事業所名

ケミコン精機株式会社

(2) 代表者名

代表取締役常務 堀川 勝司

(3) 所在地

青梅事業所：〒198-0042 東京都青梅市東青梅 1-7-6

仙台事業所：〒989-2436 宮城県岩沼市吹上 2-3-7

(4) 環境管理責任者及び連絡先

環境管理責任者 高橋 光也

連絡先 Tel 0428-24-3830

Fax 0428-24-8599

(5) 資本金

2,000 万円

(6) 事業の規模

売上高 114,800 万円 (2009 年度実績)

従業員数 52 名

(7) 事業内容

各種精密部品加工、販売

合理化、省力化機器設計及び製作、販売

## 2. 対象範囲

---

組織の概要に記載した全事業所・全事業内容



### 3. 環境方針

.....

当社は、環境方針を以下の通り定め、これに基づき行動します。

文書番号 CE-101-10A

## 環 境 方 針

ケミコン精機株式会社は、日本ケミコングループ 唯一の設備製作会社として『日本ケミコン環境基本方針』に基づき環境保全活動に取り組んでいきます。この環境方針を、ケミコン精機株式会社全事業所の活動方針として制定致します。

1. 環境方針を達成するために、適切な組織の構築、必要な人的・物質的資源を整え、目標を定め継続的改善および環境負荷の削減に取り組みます。  
環境方針及び環境目標は、毎年定期見直しを行なうとともに必要な場合は臨時見直しを行いません。
2. 環境関連の法規、条例および当社が同意したその他の要求事項を遵守し、実行します。
3. 全従業員がこの方針に従い、各事項に対し積極的に環境管理活動を展開します。
4. 当社の事業活動が環境に影響を与える以下の項目に取り組めます。
  - ①省エネルギー推進(CO2削減)
  - ②廃棄物の削減およびリサイクルの推進
  - ③水使用量の削減(節水)
  - ④化学物質の管理
  - ⑤グリーン購入の推進
  - ⑥当社自らが設計製作する製品(生産設備)の環境配慮
5. 環境方針は文書化し、教育訓練および日常の活動を通じて、当社で働く全ての人に周知・徹底をはかるとともに社外にも公表致します。

2010年4月30日

ケミコン精機株式会社  
代表取締役常務

代表者署名 堀川 勝司

## 4. 環境目標

当社における 2004～2008 年度実績平均を基準とし、2009 年度から 2011 年度までの中期目標を設定。項目 5) 6) は 2010 年度から追加した項目となっております。

項 目	基準	中 期 目 標		
	2004～2008 年度平均	2009年度	2010年度	2011年度
1)省エネルギーの推進 (CO2の削減)	2,848 Kg-CO2/人	2,791 Kg-CO2/人	2,734 Kg-CO2/人	2,677 Kg-CO2/人
①電力使用量 ②灯油 ③液化石油ガス(LPG) ④ガソリン		2004～08年度 実績平均比 2.0%削減	2004～08年度 実績平均比 4.0%削減	2004～08年度 実績平均比 6.0%削減
2)主廃棄物(単純焼却)の削減及びリサイクルの推進	0.137 t/人	0.136 t/人	0.134 t/人	0.133 t/人
①廃プラスチック ②廃油 ③段ボール ④金属くず		2004～08年度 実績平均比 1.0%削減	2004～08年度 実績平均比 2.0%削減	2004～08年度 実績平均比 3.0%削減
3)総排水量削減	10.85 m3/人	10.85 m3/人	10.85 m3/人	10.85 m3/人
①下水道		2004～08年度 実績平均比 1.0%削減	2004～08年度 実績平均比 1.0%削減	2004～08年度 実績平均比 1.0%削減
4)化学物質の削減	(1.67Kg/人) 2006年度参考	ジクロロメタンについては、2007年度より全廃し代替品を使用。あえて数値目標とはしない		
①ジクロロメタン ②化学物質の管理		化学物質の監視については、数値目標とはせず活動計画の中で毎月監視を行っていく		
5)グリーン購入の推進			グリーン購入の ルール作り(準備期 間)	グリーン購入状況 を毎月把握する
6)当社自らが設計製作する 製品の環境配慮			環境配慮設計の ルール作り(準備期 間)	環境部品明細の使用 状況を毎月把握 する

※CO2排出係数は、0.378Kg-CO2/Kwhを使用。

※総排水量の削減については、用途が生活排水のみであり ある程度対応を実施したことから 2011年度まで同じ数値目標としています。



## 5. 環境目標の実績と評価

項目	単位	2004-08年度 実績平均(基準)	2010年度(2010/4~2011/3)		
			目標	実績	評価
1)省エネルギーの推進 (CO2の削減)	Kg-CO2/人	2,848	2,734	2,457	○
2)主廃棄物(単純焼却) の削減及びリサイクルの 推進	t/人	0.137	0.134	0.099	○
3)総排水量削減	m3/人	10.96	10.85	8.67	○
4)化学物質の削減	—	—	毎月の化学物 質の監視	該当する新たな 化学物質の使用 は無し	○
5)グリーン購入の推進	—	—	グリーン購入の ルール作り	完了	○
6)当社自らが設計製作 する製品の環境配慮	—	—	環境配慮設計 のルール作り	完了	○

\* 評価判定 ○……目標達成 ×……目標未達成

### 1) 省エネルギーの推進 (CO2の削減)

結果：2004～08年度実績平均比に対しての4%削減目標 → 実績13.7%削減

### 2) 主廃棄物(単純焼却)の削減及びリサイクルの推進

結果：2004～08年度実績平均比に対しての2%削減目標 → 実績27.7%削減

### 3) 総排水量削減

結果：2004～08年度実績平均比に対しての1%削減目標 → 実績20.9%削減

### 4) 化学物質の削減

結果：該当する新たな化学物質の使用は無し

### 5) グリーン購入の推進

結果：計画していたルール作りは完了

### 6) 当社自らが設計製作する製品の環境配慮

結果：計画していたルール作りは完了



## 6. 環境活動計画と取組結果、次年度の取組内容

環境活動計画	取組結果	次年度の取組内容
<b>(1) 省エネルギーの推進 (CO2の削減)</b>		
①空調の温度管理の徹底、空調フィルターの定期掃除	○一部エアコンの入替え	①継続(時間管理、扇風機利用等追加)
②照明、OA機器の節電	○ 蛍光灯本数削減(24%)及びHf蛍光灯への交換実施	②継続(時間管理、省電力設定の徹底等追加)
③社有車エコ運転の徹底	○	③継続
④社有車のエコカー(ハイブリット車等)への入れ替え	○2台実施	④継続
⑤コンプレッサーのエア漏れ点検/整備	○	⑤継続
		⑥簡易間仕切りの設置による空調の効率化推進
		⑦網戸の設置と外気取り入れ推進
<b>(2) 主廃棄物(単純焼却)の削減及びリサイクルの推進</b>		
①段ボールのリサイクル分別の徹底	○	①継続
②事務用紙・古新聞・古雑誌のリサイクル分別の徹底	○	②継続
③緩衝材の再利用	○	③緩衝材と木材の再利用
④帳票類のシュレッダー化によるリサイクル化の実施	○	④継続
⑤部品梱包の簡略化/削減	○	⑤継続
<b>(3) 総排水量削減</b>		
①各蛇口の節水、ルールの徹底	○	①継続
②蛇口等の水漏れ点検	○	②継続
<b>(4) 化学物質の削減</b>		
①毎月の新規化学物質使用のチェック	○	①継続
		②化学物質一覧表の作成と活用
<b>(5) グリーン購入の推進</b>		
①対象品種、購入方法、データ算出方法のルール作り	○	①運用・遵守
		②エコラベル認定品の優先購入の推進
		③資材のグリーン調達一覧表作成と遵守確認
<b>6) 当社自らが設計製作する製品の環境配慮</b>		
①設計における環境部品明細(RoHS対応、省エネ対応)の作成と運用ルール作り	○	①運用・遵守
		②小型化、超寿命化、部品点数削減の志向推進

取組結果の凡例: ○問題なく実施 △不十分 ×未実施



## ボランティア活動の実施

### 1) 青梅事業所



実施日毎週1回以上（落ち葉等状況により変更）  
内容会社前の歩道の清掃活動（ごみ・落ち葉拾い雑草除去）  
参加者従業員のチームによる当番制（5-6名参加）

青梅事業所では5S活動の一環として職場のチームによる当番制で、会社前の歩道の清掃を毎週行っております。日頃から地域環境美化の意識向上を図っています。

### 2) 仙台事業所



会社前の公道ゴミ拾い、除草作業

雑草、ゴミの量（ごみ袋13袋分になりました）

実施日 2010年6月4日  
内容 会社周辺道路、空地の清掃活動（ごみ・空き缶拾い、雑草除去）  
参加者 約18名

岩沼市では年2回「クリーンいわぬま一斉清掃の日」として市民総参加による清掃活動を実施しています。仙台事業所も岩沼在住として趣旨を理解し、昨年に続き今年度も参加しました。従業員の地域環境美化の意識向上をはかるとともに地域貢献を行いました。



## 7. 環境関連法規等の遵守状況の確認 及び 違反、訴訟等の有無

当社の 2010 年度における環境関連の適用法令に基づく遵守状況の確認結果の概要は以下の通りであった。(2010 年 7 月 27 日確認)

### 1) 青梅事業所

関連法令	該当する活動	遵守状況
騒音規制法	規制基準の遵守	適合
	特定施設の届出	適合
振動規制法	規制基準の遵守	適合
	特定施設の届出	適合
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物の適正保管	適合
	産業廃棄物の適正処分（運搬、処理の委託）	適合
	マニフェスト管理	適合
労働安全衛生法	安全衛生推進者の選任	適合

### 2) 仙台事業所

関連法令	該当する活動	遵守状況
騒音規制法	規制基準の遵守	適合
	特定施設の届出	適合
振動規制法	規制基準の遵守	適合
	特定施設の届出	適合
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物の適正保管	適合
	産業廃棄物の適正処分（運搬、処理の委託）	適合
	マニフェスト管理	適合
労働安全衛生法	安全衛生推進者の選任	適合
消防法	危険物貯蔵の届出	適合

※上記の通り環境に関連する法令について確認した結果不適合はありませんでした。

また、2010 年度において近隣・行政等の利害関係者より環境に関する苦情、訴訟はありませんでした。



## 8. 代表者による全体評価と見直しの結果

---

### 【代表者のコメント】

環境管理責任者が交代して、新たなスタートとなったが、活発な活動を展開できた。特に、繁忙の中、猛暑・寒波・地震と環境が変化したが、初めての予防処置を含め的確な対応を行えた。

電力不足に備え、節電対策を行なっているが、さらに対策を検討して難局を乗り切ること。また、来期（2011年度）から2009年版に移行するので、環境に対する従業員の意識をさらに高めていく工夫を行なっていくと共に、変化に敏感な対応を行なっていくこと。